



Amazon CloudWatch アダプタ の使用方法

Version 2023.1
2024-01-02

Amazon CloudWatch アダプタの使用法

InterSystems IRIS Data Platform Version 2023.1 2024-01-02

Copyright © 2024 InterSystems Corporation

All rights reserved.

InterSystems®, HealthShare Care Community®, HealthShare Unified Care Record®, IntegratedML®, InterSystems Caché®, InterSystems Ensemble®, InterSystems HealthShare®, InterSystems IRIS®, および TrakCare は、InterSystems Corporation の登録商標です。HealthShare® CMS Solution Pack™ HealthShare® Health Connect Cloud™, InterSystems IRIS for Health™, InterSystems Supply Chain Orchestrator™, および InterSystems TotalView™ For Asset Management は、InterSystems Corporation の商標です。TrakCare は、オーストラリアおよび EU における登録商標です。

ここで使われている他の全てのブランドまたは製品名は、各社および各組織の商標または登録商標です。

このドキュメントは、インターシステムズ社(住所: One Memorial Drive, Cambridge, MA 02142)あるいはその子会社が所有する企業秘密および秘密情報を含んでおり、インターシステムズ社の製品を稼動および維持するためにのみ提供される。この発行物のいかなる部分も他の目的のために使用してはならない。また、インターシステムズ社の書面による事前の同意がない限り、本発行物を、いかなる形式、いかなる手段で、その全てまたは一部を、再発行、複製、開示、送付、検索可能なシステムへの保存、あるいは人またはコンピュータ言語への翻訳はしてはならない。

かかるプログラムと関連ドキュメントについて書かれているインターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載されている範囲を除き、ここに記載された本ドキュメントとソフトウェアプログラムの複製、使用、廃棄は禁じられている。インターシステムズ社は、ソフトウェアライセンス契約に記載されている事項以外にかかるソフトウェアプログラムに関する説明と保証をするものではない。さらに、かかるソフトウェアに関する、あるいはかかるソフトウェアの使用から起こるいかなる損失、損害に対するインターシステムズ社の責任は、ソフトウェアライセンス契約にある事項に制限される。

前述は、そのコンピュータソフトウェアの使用およびそれによって起こるインターシステムズ社の責任の範囲、制限に関する一般的な概略である。完全な参照情報は、インターシステムズ社の標準ライセンス契約に記載され、そのコピーは要望によって入手することができる。

インターシステムズ社は、本ドキュメントにある誤りに対する責任を放棄する。また、インターシステムズ社は、独自の裁量にて事前通知なしに、本ドキュメントに記載された製品および実行に対する代替と変更を行う権利を有する。

インターシステムズ社の製品に関するサポートやご質問は、以下にお問い合わせください:

InterSystems Worldwide Response Center (WRC)

Tel: +1-617-621-0700

Tel: +44 (0) 844 854 2917

Email: support@InterSystems.com

目次

Amazon CloudWatch アダプタの使用法.....	1
1 送信アダプタの詳細	1
2 組み込みのビジネス・オペレーション	1
3 一般的な AWS 設定	2

Amazon CloudWatch アダプタの使用法

[Amazon CloudWatch](#) は、特定のメトリックのデータを収集することでアプリケーションを監視できるようにする AWS 製品です。CloudWatch でメトリックを作成すると、InterSystems 相互運用プロダクションでビジネス・オペレーションを使用して、そのメトリックの値で CloudWatch を更新できます。インターシステムズは、CloudWatch 送信アダプタを使用して CloudWatch と相互作用する組み込みのビジネス・オペレーションを提供します。また、このアダプタを使用するカスタムのビジネス・オペレーションを作成するオプションもあります。ビジネス・オペレーションや送信アダプタの使用法を含め、相互運用プロダクションに不慣れな場合は、“相互運用プロダクションの概要”を参照してください。

重要 現時点では、CloudWatch アダプタの `PutMetricData` メソッドのみが完全に機能します。
`PutMetricAlarm` メソッドを使用して CloudWatch アラームを操作しないでください。このメソッドは、将来のリリースで変更される可能性があります。

1 送信アダプタの詳細

CloudWatch 送信アダプタのクラスは、`EnsLib.AmazonCloudWatch.OutboundAdapter` です。このクラス内で、`PutMetricData` メソッドには、CloudWatch を特定のメトリックの値で更新するロジックが含まれます。このメソッドのシグニチャは以下のとおりです。

```
Method PutMetricData(namespace As %String, metricName As %String,  
    metricValue As %Numeric, metricUnit As %String,  
    dims As %String = "") As %Status
```

説明：

- `namespace` はメトリックの [CloudWatch ネームスペース](#) です。
- `metricName` はメトリックの名前です。
- `metricValue` は特定のメトリックのために CloudWatch に送信されるデータポイントです。
- `metricUnit` はメトリック値の測定単位です。この測定単位は必須です。有効な単位のリストは、[Amazon CloudWatch JavaDoc リファレンス](#)を参照してください。
- `dims` は、メトリックの [ディメンジョン](#)を表す、名前と値のペアを持つ JSON 配列です。例えば、
`[{"Name": "StorageType", "Value": "StandardStorage"}, {"Name": "BucketName", "Value": "test-bazco"}]`
のようになります。

2 組み込みのビジネス・オペレーション

送信アダプタを使用するカスタムのビジネス・オペレーションを開発するのではなく、`EnsLib.AmazonCloudWatch.Metric-DataOperation` ビジネス・オペレーションを相互運用プロダクションに追加することにより、時間と労力を節約できます。追加すると、プロダクションでメトリック・データを含む事前構築された要求をビジネス・オペレーションに送信できるようになります。この事前構築された要求のクラスは、`EnsLib.AmazonCloudWatch.PutMetricDataRequest` になります。

ビジネス・オペレーションには、名前やネームスペースなど、CloudWatch メトリックを特定するアダプタのパラメータに対応するプロパティが含まれます。ビジネス・オペレーションをプロダクションに追加したら、対応する管理ポータルの設定

を使用してこれらのプロパティを設定できます。ビジネス・オペレーションのプロダクションへの追加の手順は、“ビジネス・ホストの追加”を参照してください。

3 一般的な AWS 設定

CloudWatch 送信アダプタは、一般的な AWS プロパティを含む一般的なアダプタ・クラスを拡張します。これらの AWS プロパティは、送信アダプタを使用するビジネス・オペレーションをプロダクションに追加する際、管理ポータルでの [AWS] 設定を使用して設定できます。

CredentialsFile – 空白の場合、Amazon は既定の認証情報プロバイダ・チェーンを使用して、CloudWatch へのアクセスに必要な認証情報を取得します。AWS 認証情報ファイルを使用する場合は、そのファイルパスを入力します。

リージョン – アクセスする AWS リージョンを指定します。CloudWatch リージョンのリストは、Amazon の “[Regions, Availability Zones, and Local Zones](#)” を参照してください。